

表1 検査面からみたノロウイルス感染症の発生様式の特徴

感染	特徴
<p>食品を介しての感染(食中毒)</p>	<p>①同一の遺伝子型のノロウイルスに起因する。                      ②患者便のほか、調理従事者便、食品、ふき取り材料などからノロウイルスが検出される。                      ③複数の調理従事者便からノロウイルスが検出される場合が多い。                      (④患者発生は単峰性である。)</p>
<p>ウイルス汚染二枚貝の生食、加熱不足による感染</p>	<p>①患者便から遺伝子グループ I あるいは II に属する数種類の遺伝子型のノロウイルスが検出される。                      ②調理従事者便からノロウイルスが検出されない。                      (③患者発生は単峰性である。)                      (④1月および2月の発生が多い。)</p>
<p>ヒト-ヒト感染</p>	<p>①同一の遺伝子型のノロウイルスに起因する。                      ②調理従事者からノロウイルスが検出されることはほとんどない。                      ③提供された食品からノロウイルスが検出されない。                      (④患者発生は多峰性である。)                      (⑤嘔吐物による飛沫・塵埃感染がある。)</p>